

まいすてっぷ

保護者向け勉強会のお知らせ

このたび、日々の子育てに奮闘されている保護者様方にとって、少しでも参考になる研修ができればという思いから、下記のような勉強会を企画させていただきました。まいすてっぷご利用のご家族ならばどなたでも受講できます。

参加費は無料ですが、[勉強会の間、お子様を必ずまいすてっぷの余暇活動に参加](#)をお願いします。ご理解のほどよろしくお願いたします。なお、[兄弟姉妹のお子様は受け入れができません](#)のでご了承ください。

記

内 容：『**CARE－子どもと大人のきずなを深めるプログラム**』
※「**CARE JAPAN**」で検索してください。

講 師：野間 康美 氏

臨床発達心理士、CAREジュニアトレーナー、
ESDM (Early Start Denver Model) 認定セラピスト
福岡教育大学大学院卒 教育学修士

場 所：宇土市民会館2階 第2会議室

日 時：<前半> 9月22日 (土曜日)

Aグループ=10時~12時、Bグループ=13時30分~15時30分

<後半> 10月27日 (土曜日)

Aグループ=10時~12時、Bグループ=13時30分~15時30分

※AグループBグループとも、[前半と後半の両日 \(合計4時間\) を受講していただきます。1日だけの参加はできません。](#)2ヶ月にまたぎますので、ご予定を調整の上ご参加ください。

※[申し込み締め切りは9月7日 \(金\)、9月8日 \(土\) に受講決定通知をメールにてお送りします。](#)

申込担当職員：まいすてっぷ 濱下 かおり・秋野 早映

参加された保護者様の声

- * CAREプログラムは、自閉症スペクトラム障害の子どもだけでなく、どんな子どもにも使えることと思い、子どもとの接し方を変えていこうと思いました。指示の出し方、ほめ方、伝え方など、これから取り入れて生活したいと思います。
- * 今まで子どもに対して、できることはしてきたつもりでしたが、CAREを学んでみて、気づかされることがいくつもあり、ハッとすることもありました。
- * 今まで自分の叱り方、ほめ方がどうなのか、子どもに悪影響を与えていないか、悩む場面が多くありました。今回、CAREプログラムを学ぶことで、一つの道しるべが出来た気がします。大変有意義な時間でした。
- * 自分一人では、ほめ言葉やスキルが乏しいので、参加者のみんなで色々な案を出し合い、自分の言葉にしていく事ができると思いました。その時その時で子どもの状況が違うので、とっさに思いつかない事が多く、今回学んだことを生かせれば良いなと思いました。
- * 2時間×2日間でしたが、とても楽しい気持ちで参加できました。ロールプレイも親の立場だけでなく子どもの立場にもなることで、「こんな気持ちにさせていたんだなあ〜」と反省したり、「この言い方だと伝わらないはずだわ…」と納得したり…という感じで、良い気づきの場となりました。答えのない手探りな子育てですが、自分の心がけている接し方が、実はCAREプログラムで良いとされている対応と似ており、「間違えてなかった！」と嬉しい気持ちにもなりました。
- * 以前ペアレントトレーニングを子どもと一緒に受講した際、今回と同じような内容のことを言われていたことを思い出しました。日頃、多忙で時間に追われていると、自分のストレスでいっぱいになり忘れてしまいがちなので、受講して座学で学び、家庭で実践した後の振り返りが1ヶ月後にできて、とても良かったです。自分の精神コントロー

ルもできない時に、子どもの悪い行動に注目してしまい、ついつい怒る事が多かったので良い機会になりました。

- *時間をかけて教えていただき、わかりやすく良かったです。この勉強が身を結ぶように頑張りたいと思います。
- *このような勉強会に参加させていただき、ありがとうございました。子どもとの関わり、成長の中で大切な事を、たくさん学べとても良かったです。
- *3K、3Pなど、思い出すのにわかりやすいご指導が良かったです。これまで「あたりまえ」「ふつう」と思い、特にこちらが注目していなかったことを、「ほめて強化する」というのはすぐにできそうで、効果があるだろうなと思いました。3Kの中の「質問しない」という項目で、あきらかに自分が怒っている時に「なんで〇〇したの?」「どうして〇〇なの?」と言っていたのは、極力しないように改めました。その後、子どもが居心地良さそうです。
- *子どもが思春期になり、反抗する事が増え、どのように言葉かけをしたら伝わるのか悩んでいたのも、具体的にどうしたらいいのかがわかり、研修を受けて良かったと思いました。これから少しずつ実践し、子どもの自己肯定感を高めていけるようにしたいと思います。
- *実際の生活を振り返る良い機会になりました。主人も子どもとの関わりを見直す良いきっかけになったと思います。このプログラムは、自閉症スペクトラム障害の子どもだけでなく、他の兄弟にも言える事で、子どもとの関わりをもっと深めていけたらと思います。私も主人もフルタイムで働く中、4人兄弟できっと満足に子ども達の思いに応えられていないと思います。そんな中、子ども達との繋がりを、お互いに心地よく深めていく事ができたらいいなと思います。日々の生活の中で、今回のプログラムを少しずつ実践していけるよう、頭の中に置いておこうと思います。ありがとうございました。